

令和7年度 農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和7年度に交付金事業を実施し、今年度が目標年度となる近畿農政局管内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が2地区、総合的に低調と認められる地区が3地区との評価結果となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

3. 各地区の評価結果

●農泊推進事業、人材活用事業 5件

【令和6年度採択】

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
近畿	兵庫県	丹波篠山市	北摂丹波アップストリーム協議会【ソフト】						●	● ■ ▼	△	C	計画していた取組はすべて実施され、協議会の実施体制も中核法人を中心として計画で定めた構成員となっている。しかし、想定通りにはPR効果が出ず、認知度向上と集客につながらなかったことから売上、宿泊者数ともに目標より下回っており、十分な成果を上げているとは言えない。
近畿	奈良県	奈良市	田原農泊推進協議会						●	● ■ ▼	△	C	農泊推進事業は、概ね計画通りに取り組みを実施しているが、人材活用事業は、雇用の際に地域要件にかなう人材を見つけるのが困難で、計画通りに人材を雇用できていない。地域協議会の実施体制は、計画で定めた構成員、役割となっており、事業実施体制は機能している。しかし、現在事務局は法人化手続中であり、主力体験コンテンツの実施において、運営体制に課題が残る。売上高、延べ宿泊者数等の事業実績は概ね目標を達成している。以上のことから、十分な成果を上げているとは言えない。
近畿	奈良県	御所市	金剛葛城山麓地区農泊事業推進協議会						●	● ■		A	すべての取り組みが計画通りに実施され、売上高は概ね目標を達成しているが、延べ宿泊者数は目標を下回った。料金単価については概ね目標を達成している。事業実施体制も機能していることから、成果を上げていると認められる。

近畿	奈良県	宇陀市	宇陀市古民家活用地域活性化協議会						●	● ■		A	すべての取組において、計画通り実施された。売上高、宿泊者数は目標を下回ったが、高付加価値化の取組を実施し宿泊単価は概ね目標を達成した。地域協議会の実施体制は、中核法人を中心として、計画で定めた構成員、役割となっており、事業実施体制も機能していることから、成果を上げていると認められる。
近畿	奈良県	明日香村	明日香村交流人口促進協議会						●	● ■ ▼	△	C	計画通りに事業を実施している。地域協議会の実施体制は、中核法人を中心として、計画で定めた構成員、役割となっており、事業実施体制は機能している。インバウンド個人旅行者は増加したが、顧客単価の伸び悩みが原因となり、売上高は目標値を大きく下回っており、十分な成果を上げているとは言えない。

(注1)「事業実施段階」の凡例：ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・・交付対象年度(計画) ★・・・交付対象年度(実施済) ◇・・・目標年度(計画) ◆・・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・・重点指導(通知) △・・・重点指導(結果報告予定) ▲・・・重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調 評価対象外・・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:丸山 政行(一般財団法人京都大学名誉教授森下正明研究記念財団代表理事)
委員:牛尾 洋也(龍谷大学法学部法律学科教授)、副島 久実(摂南大学農学部食農ビジネス学科大学准教授)

【令和8年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和8年7月28日(火) 10:30～15:15 ※現地調査を含む 2 場 所 :Light HouseTAWARA(田原農泊推進協議会)／特定非営利活動法人ディーセント・ファームかしわら 3 議事概要 ① 令和7年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和7年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和7年度に事業を実施した地区の取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明した。 4 主な意見 特になし

第2回評価委員会

1 日 時 :令和8年8月3日(月) 14:00～15:00

2 場 所 :近畿農政局第3会議室(WEB併用)

3 議事概要

令和7年度に事業を実施した5地区の評価案等に関して、了承を得た。

重点指導通知案3地区分の内容について議論を行い、了承を得た。

昨年度重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。

4 主な意見

研修生雇用について、計画段階での指導強化が必要ではないか。

複数施設の連携により成果が出ていることから、「一定の集積が農泊成功の鍵」ではないか。